

# 登壇デビュー向け演題募集のご案内

第 28 回日本救急看護学会学術集会

このたび、第 28 回日本救急看護学会学術集会（2026 年 11 月・岐阜開催）において、「**登壇デビュー向け**」演題募集について公開いたします。

本企画は、通常の一般演題に加えて登壇デビュー向け発表演題の枠を設け、下記の趣旨に基づき広く演題を募集するものです。募集する演題は、救急外来や ICU といった狭義の救急現場だけでなく、病棟、在宅、地域、災害、あるいは教育・管理、他職種連携など、広い視野での活動紹介、活動報告、活動実績、事例報告、等、話題提供の型にはまらない自由な発表スタイルで行えます。

現在、看護に共通する課題、話題、看護実践に対し、若い看護職、若手の認定看護師・専門看護師、看護教育機関等でご活躍の若手の教員、勤務異動・再就職された方、大学院等で初めて研究に取り組みされた方、は特に、悪戦苦闘していることと思います。このような皆様の日々の熱い戦いぶりを、ぜひ学術集会の場で共有しませんか？

口演形式で皆様の募集演題に関する報告・紹介していただいた後、一定の時間を設けてディスカッションを行うことを予定しています。

本企画は、初めて学会発表にチャレンジする方が対象になります。実践的な活動をゆる〜く共有し、自施設・ご自身の活動紹介、活動報告、活動実績、事例報告、等、を通して参加者相互の知見を深めるとともに、実践に即した学術的交流の場を創出しながらも、研究発表に自信をつけていただくことを目的としています。

なお、**演題募集の開始時期は一般演題と同様**です。本演題のオンデマンド配信はありません。

既成概念にとらわれず、これからの救急看護のあり方を拡張するような、多様なテーマでの応募をお待ちしております！

**\*\* テーマ指定演題の目的と特徴 \*\***

★初めて学会発表にチャレンジする方が対象になります。

★救急外来や ICU といった狭義の救急現場だけでなく、病棟、在宅、地域、災害、あるいは教育・管理、他職種連携など、広い視野で、幅広く、あなたの施設での取り組みの発表を歓迎します！

**\*\* 発表形式 \*\***

発表時間：各演題とも 7 分以内です。

発表形式：すべての演題発表終了後に、座長からのコメント時間を5分間設けます。なお、抄録の登録は必要とします。

抄録構造：抄録構造については、特に制限はございません（査読の際に、査読者より体裁の修正等を入れさせていただく場合はございます）。

参考までに、抄録構造フォーマットとして、以下の2種類を紹介します。

- \* **パターン1**：通常の抄録構造です。⇒ **I.目的、II.方法、III.結果、IV.考察**。なお、倫理的配慮（倫理委員会の承認、倫理配慮すべき内容の記載、等）が必要な場合は、必ず記載ください。
- \* **パターン2**：「看護現象の言語化」を記載するための抄録構造です。看護実践報告や事例報告に適しています。⇒ **I.背景、II.事例紹介、III.できごとの記述、IV.できごとの振り返り、V.見出した意味**。なお、倫理的配慮（倫理委員会の承認、倫理配慮すべき内容の記載、等）が必要な場合は、必ず記載ください。「看護現象の言語化」構造は、IMRAD形式にこだわらない看護の知を共有する構造として、兵庫県立大学看護学部の小野博史准教授が考案された構造です。この構造は『看護研究、vol55,No.1、pp.13-14、2022』で紹介されています。また、ご参考までに下記のURLをご参照ください。

特集 第1回 理論看護研究会（Phenomena in Nursing (2021) S19 – S33）

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/purs/5/1/5\\_S21/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/purs/5/1/5_S21/_pdf/-char/ja)

## ■ 応募に向けて

本学術集会は、より多くの皆様に準備期間を確保いただけるよう、各テーマを早期に公開しております。これを機に、ご自身の臨床経験・活動成果との関連をお考えいただき、ぜひご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、演題登録の際は、内容に応じて「初登壇者向け」以外に、「テーマ指定演題（口演）（ポスターディスカッション）」または従来の「一般演題」のいずれかもお選びいただけます。

★ 「一般演題」「テーマ指定演題」希望の方は、こちらの「登壇デビュー向け」演題登録を選択しないように気を付けてください。

多くの皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

## ■ 特典

「登壇デビュー向け」において、演題を登録し、ご発表いただいた方には、そのご尽力を称え、学術集会より感謝状をもれなく贈呈いたします。発表をお待ちしております！

また、特典2として、座長より今後に繋がる前向きなコメントをいただくこともできます！